

## 地球の7つ目の新大陸ジーランディアの発見

地球表面には3つの大洋と6つの大陸があることは古くから知られてきた。2017年になって、ニュージーランドのニック・モーチマーを筆頭とする地質学者たちは[1]、ニュージーランド周辺に、94%が海底に沈んでいる7番目の大陸があると主張し、その大陸をジーランドと呼ぶことを提案した。

地球表面が大陸と海洋に分けられることは、アルフレッド・ウェーゲナーの大陸移動説を論じた著書のタイトルで象徴されるように、地球の特異性を示す性質である。それは、地球表層でプレートテクトニクスが作用していることと深く関係している。大陸地殻と海洋地殻の違いは、地形、地殻の厚さや構成岩石の違いによるものであり、その区別は明瞭で、これまでに知られている大陸はいずれも地表に現れていた。

モーチマーらは、大陸地殻と大陸地殻の違いをレビューし、新たに大陸に加えられることになるジーランディアが大陸地殻の性質をもっていることを地質学的、地球物理学的データをもとに論じ、その地理的広がりを示している。

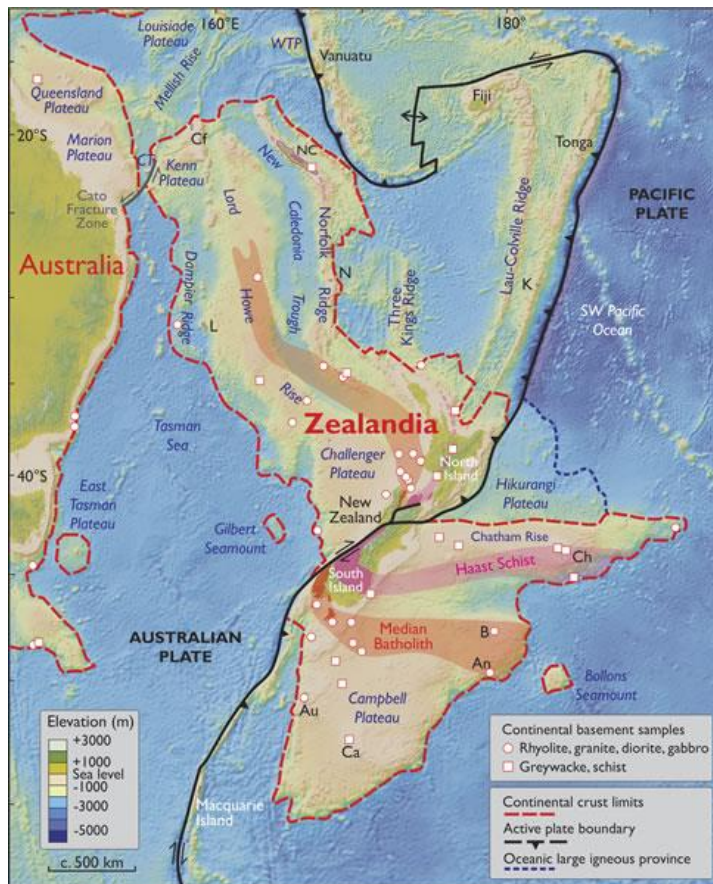


図1. 新たに認定された大陸、ジーランディア

ジーランディアの面積は約 490 万平方キロであり、インド大陸の大きさに匹敵している。この大陸は、中生代にはゴンドワナ大陸の一部であったが、大陸分裂によって南極大陸から分離し、その後オーストラリア大陸とも分裂した。オーストラリア大陸とは、現在海洋地殻でできたカト海谷で隔てられている。

なぜこの大陸は水没しているのか。そもそもこの大陸自体が 94%水没しているので、その解明は今後の課題であるが、モーチマーらは、大陸分裂の際に広域的に伸張変形を受け、相対的に地殻の厚さが薄くなったと論じているが、この地域では造山運動が活発ではなく、大陸自体が未成熟だった可能性もあるという。

この大陸の性質が地質構造発達史、テクトニクスの解明に向けて、海洋底掘削プロジェクトが進められている。

[1]Mortimer, N. et al. (2017) GSA Today, 27, no.3, 27-35.